

学校教育目標

自立する生徒

～イメージ豊かに創造しよう～

- ・意欲を持って学習する人
- ・正義を重んじる人
- ・共に生きる人

城山中たより

No. 13

令和8年5月14日
綾瀬市立城山中学校
校長 熊本 丈力

5月朝会 校長 挨拶より

城山中学校50周年について



5月になり、4月の緊張感から解放され、少しホッとしている人もいます。実は5月は、1年の中で最も心と体のバランスを崩しやすい時期とも言われています。新しいクラス、新しい部活。一生懸命走り続けてきた自分のエンジンを一度点検してみましょう。大事なものは、完璧を目指しすぎないことです。もし今、「やる気が出ない」「疲れが取れない」と感じているなら、それは皆さんが4月を全力で駆け抜けた証拠です。夜は早く寝る、朝ごはんをしっかり食べる。そんな当たり前の生活習慣を整えることが、実は一番の解決策です。焦らず、自分のペースで毎日を生活していきましょう。

さて、今日は、城山中学校の歴史について話をします。城山中学校は昭和52年4月1日に開校し、今年で開校50年目を迎えました。これまでに卒業した生徒は10000人近く、多くの卒業生が各方面でご活躍されています。

開校した最初は、体育館やプール、特別棟もない、「山の中に突然、白い4階建ての校舎ができあがった」という印象があったそうです。グラウンド状態も悪く、PTAとも環境整備をしながら徐々に環境を整えていったと聞いています。開校当初の体育の授業は体育ではなく、生徒たちがグラウンド中の小石を拾って整備したそうです。校章は生徒、職員の応募で当時2年生だった生徒の作品が採用されました。

今年度、生徒数は483名ですが、かつて1000人を超える時期もありました。50年の間には野球部、サッカー部、卓球部、吹奏楽部、放送部などが県大会で優勝したり、関東、全国大会に出場したりするなどの素晴らしい成績が残っています。

こうした歴史は、特別な誰かがつくったものではありません。その時代ごとに、この学校に通っていた一人ひとりの生徒が、仲間とともに努力し、積み重ねてきたものです。

そして今、そのバトンは、皆さんに渡されています。来年度には本校の50周年を記念する式典を予定しています。今、生徒会本部が呼びかけ「50周年のスローガン」を募集し、まもなく決まろうとしています。どんな言葉が選ばれるのか、とても楽しみです。スローガンは、ただの言葉ではありません。これからの本校をどんな学校にしていきたいのか、どんな思いを大切にしていきたいのかを表す、大切なメッセージになります。ぜひ、その思いを自分ごととして受け止めてほしいと思います。

これまでの50年を大切にしながら、これからの新しい一歩をつくっていくのは、皆さんです。勉強や部活動、友だちとの関わり、日々の何気ない行動の一つひとつが、これからの学校の歴史になります。今年ちょうど創立50周年となるこの城山中学校で皆さんと過ごせることは、私にとってとても嬉しいことですし、皆さんにとっても貴重な経験となります。皆さんで城山中50周年を盛り上げ、新しい伝統を創っていきましょう。